

標津町立標津小学校

1 学習活動の概要

本校では、総合的な学習の時間を中心として、日本遺産『鮭の聖地』の物語～根室海峡一万年の道程～」を学習教材として取り上げ、子どもたちにふるさとに対する愛着や誇りを育むとともに、地域の課題について主体的に考え、解決しようとする力を育成する授業実践に取り組みました。

2 学習活動の様子

(1) 「サケ学習」に関する系統的な指導計画の作成

本校では、発達の段階を踏まえた系統的な「サケ学習」を進めることができるよう、各学年の総合的な学習の時間等において育成する資質・能力を明確にした指導計画を作成しました。

学年	育成する資質・能力	学習課題	地域人材・素材を活用した体験学習
2年	鮭の稚魚の特徴や自然環境について理解し、観察等を通して集めた情報を整理してまとめるとともに、鮭と地域との関連に気づき、自ら関わろうとしている。	サケの誕生について調べよう	鮭の卵・孵化の観察
3年	鮭の稚魚の特徴や自然環境について理解し、体験等を通して集めた情報を整理してまとめるとともに、鮭と地域の自然環境との関連に気づき、自ら関わろうとしている。	私たちのサケが旅立つ様子について調べよう	稚魚観察会 鮭の稚魚放流
4年	鮭の生態や自然環境について理解し、体験等を通して集めた情報を整理してまとめるとともに、鮭と地域との関連に気づき、自ら関わろうとしている。	私たちのサケが成長する様子について調べよう	サーモン科学館見学
5年	鮭の行動と地域の自然環境との関連について理解し、体験等を通して集めた情報を整理してまとめるとともに、鮭と地域との関連に気づき、自ら関わろうとしている。	私たちのサケが帰ってくる様子について調べよう	漁業体験 鮭の遡上見学 産卵行動見学
6年	鮭に関わる人の営みについて理解し、体験等を通して集めた情報を整理してまとめるとともに、鮭と地域社会との関連に気づき、自ら関わろうとしている。	私たちのサケの命をつなげる様子について調べよう	鮭の人工授精体験

(2) 地域人材・資源を活用した体験学習

地域の自然の活用や関係機関等との連携により、「サケ学習」における探究的な学習活動を充実させるとともに、子どもたちの主体的な学びを促進するよう、地域住民から学ぶ体験や地域の素材に触れる体験を取り入れるなど、工夫をしました。



【第3学年稚魚観察会】



【第4学年サーモン科学館見学】



【第5学年鮭の遡上見学】



【第6学年人工授精体験】

3 Naviポイント

- 子どもたちにふるさとに対する愛着や誇りを育むために、育成する資質・能力を明確にした上で、身近な地域の資源を活用することが大切です。
- 子どもたちが「サケ学習」を通して地域の産業や歴史等に視野を広げ、探究的な見方・考え方を働かせながら横断的・総合的な学習に取り組むことができるよう、指導計画を工夫することが大切です。